

北広島町生物多様性審議会 平成 27 年度第 1 回会議

日時：平成 27 年 6 月 3 日（水）14：30～

場所：北広島町役場 2 階 会議室

出席：石丸 賢，山根清吾，山本正克，入澤良枝，土佐一幸，砂原正則，
近藤紘史，下杉 孝，神川勇人，空田賢治

欠席：中越信和，和田秀次，千代田地区委員，竹下雅士

事務局：池田庄策，佐々木直彦，田邊正康，白川勝信

オブザーバー：平野 正（広島新庄中学・高等学校）

1. 開会

(1) 開会あいさつ

池田教育長が挨拶した。

(2) 委員紹介（資料 1）

委員及び事務局員が自己紹介した。

2. 報告事項

(1) これまでの施策進捗状況について（資料 2）

事務局より，スライドを用いて進捗状況を報告した。

3. 議事

(1) 会長・副会長の選任

会長に中越委員，副会長に空田委員が選出された。

(2) 本年度の達成目標について（資料 3）

以下の項目について協議した。

- 生物多様性きたひろ戦略進捗状況の評価
役場各課においてヒアリングを実施することが事務局から提案され，承認された。また，以下の調査を実施することについて，委員から提案があった。
 - 各団体が回答しやすいように配慮したチェックシートを配布して，役場以外での進捗状況を調査する。国・県は既に実施しており，比較することができる。
 - 町内の各団体が公開しているホームページを閲覧して，活動状況

を調査する。

- 町民にアンケートを配布し、生物多様性についての認知度などを調査する。
- 北広島町長期総合計画との関連
以下のことについて、委員から提案された。
 - 生物多様性の考えは、町づくりの根底を成すものであり、次期長期総合計画
- その他
町民への普及、及び職員への周知が不十分であることが指摘された。これを踏まえ、以下の提案、指摘、情報提供があった。
 - 役場の職員一人一人が、自課が実施している事業との関連として生物多様性について解説できるくらいにならなければいけない。そのために、各課の施策を生物多様性の視点から説明する資料を作成する。
 - 講演会やキャラバンなどかしまった場だけではなく、リラックスした雰囲気の中で生物多様性について語る場が必要。
 - 子どもから大人まで、生物多様性に親しむためのシンボリックな場を造る。
 - 生物多様性を保全した上で「どこまで活用するのか」という、将来の利用についてビジョンを具体的に示す必要がある。
 - 生物多様性が低下した時に起こりうる不具合について具体的に示す必要がある。
 - 漁協では、環境省の補助金を用いたカワウ対策事業を実施しており、個体数を最大時の1割程度にまで減らすことに成功している。

(3) 目標達成のための計画について（資料4）

資料4の計画に従って実施することで合意された。

(4) 今後のスケジュールについて

- 次回審議会：平成27年10月以降に実施することとした。

4. 事務連絡

5. 閉会

空田副会長が挨拶し、閉会した。